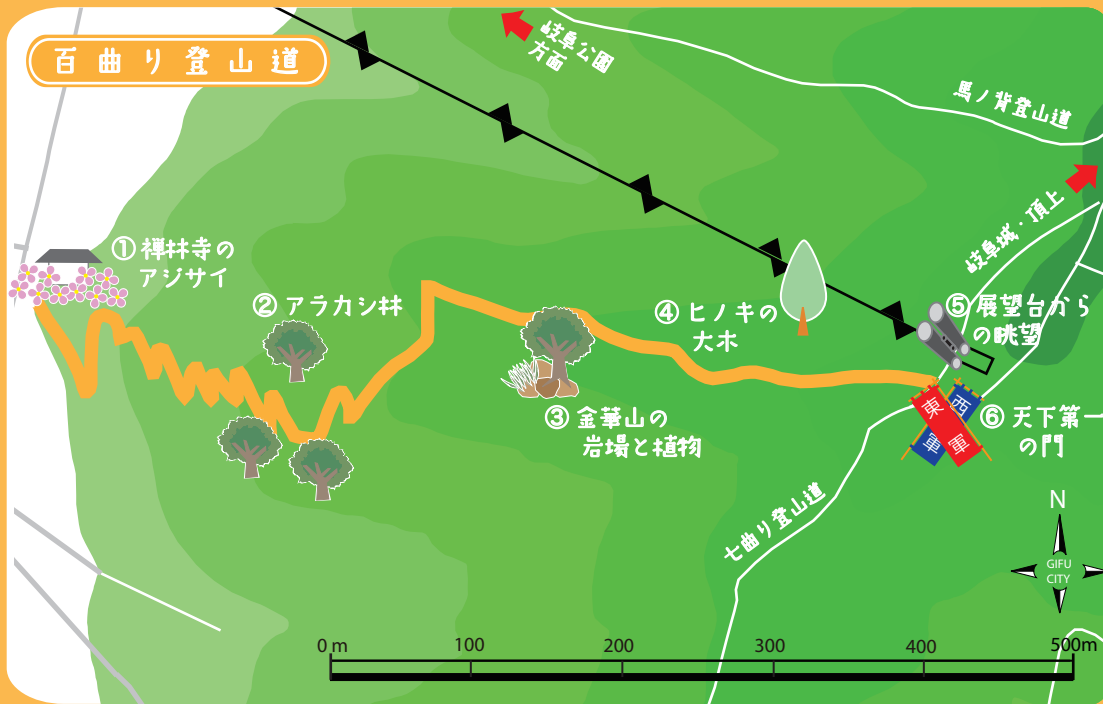


百曲り 登山道を歩く。



距離：約 1100 m
所要時間：約 40分
植物お楽しみレベル



歴史お楽しみレベル



ハイキングレベル



(真っ直ぐに頂上を目指すため非常に道が急になっている。)

登山道入り口：

禅林寺 裏から

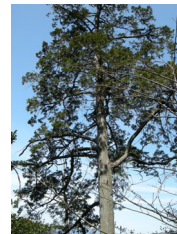
禅林寺から金華山の西側の尾根を登り山頂へ行く登山道。
尾根を登るため、道は比較的陰しい。樹高の低いアラカシが多く、山頂近くにはヒノキの大木が見られます。

COURSE GUIDE



禅林寺～アジサイ～ ①

百曲り登山道の入口にある禅林寺は、別名アジサイ寺と呼ばれています。
5月末から6月の梅雨の時期になると色とりどりのアジサイがきれいに花を咲かせます。
また禅林寺の境内からは、岐阜市内の眺望を楽しむことができます。



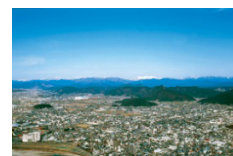
ヒノキの巨木 ④

尾根筋では、ヒノキの大木が見られます。
ヒノキはアカマツに比べて成長が遅いため、アカマツと同じくらいアカマツより細い場合でもヒノキの方が樹齢が経っていることもあります。
金華山では、江戸時代やそれ以前のものと思われるヒノキを見ることができます。



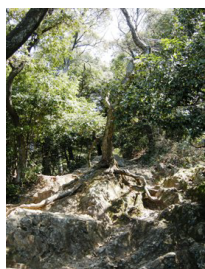
アラカシ群落 ②

百曲り登山道に入ると低木のアラカシの林を見ることができます。アラカシの林では、秋になるパラパラとドングリが落ちてくるのをあちらこちらで見ることができます。またアラカシは、夏になるとカブトやクワガタなど集めることから観察しやすい木としても知られている。



展望台からの眺望 ⑤

展望台からは、長良川はもちろん斉藤道三の隠居城となった鷺山・岐阜市で一番標高の高い百々ヶ峰が一望できます。
天気が良ければ、岐阜県と福井県の県境の能郷白山まで望むことができます。



金華山の岩場と植物 ③

中腹くらいから岩場の露出が目立ちます。それは、金華山は巨大なチャートという硬い岩石でできているため土壌が非常に薄く、雨が振ると岩の表面ののっていた土を洗い流してしまうからです。そのため金華山の植物は、根で岩を抱えたり岩に張り付いて成長している姿を見ることができます。



天下第一の門 ⑥

冠木門が現在ある辺りは、かつて三の丸であつたといわれています。
関ヶ原の合戦の時には、その先にある上格子門との間で西軍 織田信秀と東軍 福島正則らとの激しい銃撃戦が行われたと伝えられています。

くわしくは裏面へ

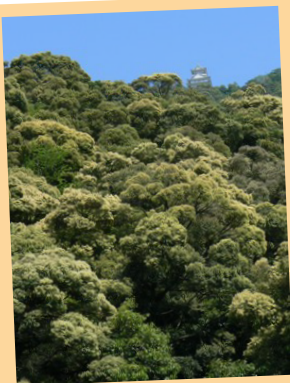
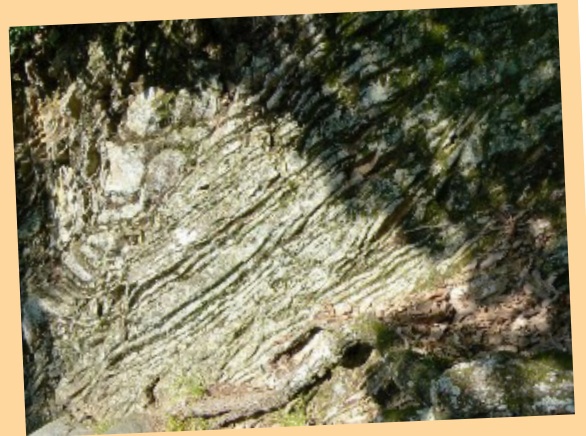
百曲り登山道の植物の移り変わり



百曲り登山道は、金華山の西側の尾根を真っ直ぐに頂上へ登る登山道です。尾根を登るため陰しい道が続きます。百曲り登山道の入口では、アラカシなどの常緑広葉樹が広がるため暗く光のあまり入らない森が広がっています。中腹になるにつれて、森に光が入り岩場が露出てきます。光が当たるところでは、ミツバツツジやモチツツジなどが咲かせ登山者を楽しませてくれます。また、岩場の露出した箇所では、金華山の木の特徴である岩にしがみついて成長している木の姿を見ることができます。百曲り登山道からその奥に見えるロープウェーにかけて、多くのヒノキの巨木を見ることができます。以前金華山サポーターズ川瀬氏が、百曲り登山道で伐採された胸高直径が36cmの太さのヒノキの年輪を調査したところ樹齢は、245年であることがわかりました。その太さくらいのヒノキはまだ何本もみられることから、百曲り登山道周辺に広がるヒノキの林は江戸時代ころから広がる森であると考えられています。百曲り登山道の周辺の森は、江戸時代から引き継がれてきた金華山を代表する森が広がっています。

金華山の岩石のチャートって？

金華山の岩山を作っているチャートは、非常に硬い岩石の1つです。チャートは、海にただよっていた放散虫（ほうさんちゅう）という生き物が1,000年に数mmといわれるほどゆっくり、海底に降り積り固まってできた地層です。金華山にあるチャートの中の放散虫を詳しく調べると約2億6000～2億3000万年前に海底で堆積したものとわかっています。このことから2億3000万年前、金華山周辺は海だった言われています。そこから何億年という時をかけて隆起（りゅうき）し陸地となったのです。チャートは、非常に硬いため根が入っていかず岩を抱えて成長しているのです。



江戸時代から守られてきた森

金華山に現在も江戸時代のころのヒノキ林が残っているのには、金華山が人々によって厳しく管理されてきたからだと言われています。江戸時代から明治5年までは尾張藩が「天領」として管理し、一般の人々が山で木を切ることが禁止されていました。その後も「御領林」、戦後「国有林」として管理されていく中で、一般の人たちの生活の材として使われることがほとんど無かったため、江戸時代のころのヒノキ林が現在も残っているのです。

百曲りのヒノキ林は貴重な資料？

百曲り登山道から見えるヒノキ林の樹齢は、およそ200年ほどと考えられています。金華山のヒノキの林は、昔は現在より広範囲に広がっていたと考えられています。現在もの残っているヒノキの林は、その昔の金華山の姿を示す貴重な資料なのです。

